

## 演題募集のお知らせ

拝啓 秋晴の候、皆様方におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

この度、伝統ある第33回肝類洞壁細胞研究会学術集会を2019年11月30日(土)、12月1日(日)に大阪あべのハルカスにて開催させていただきます。

本学術集会では、肝臓研究のオーソリティーである下記の先生方に、ご講演をお願いいたしました。

### ・ランチョンセミナー

1日目

萩原 智 先生 (近畿大学病院消化器内科 講師)

「DAA治療によるベネフィット」

調 憲 先生 (群馬大学大学院医学系研究科総合外科学講座肝胆膵外科 教授)

「M2BPGiの動態から見えてきた新たな肝星細胞研究の糸口」

2日目

田中 靖人 先生 (名古屋市立大学大学院医学研究科 病態医科学教授・肝疾患センター長)

「非代償性C型肝硬変に対する最新の治療戦略と今後の問題点」

### ・イブニングセミナー

厚川 正則 先生 (日本医科大学付属病院 消化器・肝臓内科 准教授)

「C型肝炎治療、RWDでわかるDAAの実力」

島 俊英 先生 (大阪府済生会吹田病院 副院長)

「NASH診断における非侵襲的検査の現状」

### ・特別講演

大谷 直子 先生 (大阪市立大学大学院医学研究科病態生理学 教授)

「腸内細菌関連物質による肝がんの進展メカニズム」

### 募集期間を延長しました

演題募集期間	2019年9月17日(火) - <del>10月15日(火)</del> 10月25日(金)
演題登録方法	当番世話人事務局： <a href="mailto:urushima.hayato@med.osaka-cu.ac.jp">urushima.hayato@med.osaka-cu.ac.jp</a> (宇留島) へ <u>メール送信</u> にて承ります
演題募集要項は肝類洞壁細胞研究会ホームページ ( <a href="http://hsrjapan.umin.jp/">http://hsrjapan.umin.jp/</a> ) を ご参照ください (演題申込用紙はHPよりダウンロードできます)	

皆様のご応募ならびにご参加を心よりお待ちしております。

敬具

第33回肝類洞壁細胞研究会学術集会  
当番世話人 池田一雄  
(大阪市立大学大学院医学研究科機能細胞形態学)

## 演題募集要項

募集期間を延長しました

演題募集期間：2019年9月17日(火)～10月15日(火) **10月25日(金)**

### 演題募集要項

抄録を下記の演題申込用紙もしくは以下の様式で作成いただき、E-mailの添付ファイルとして当番世話人事務局（[urushima.hayato@med.osaka-cu.ac.jp](mailto:urushima.hayato@med.osaka-cu.ac.jp)）宛にお送りください。

申込用紙：<http://hsrjapan.umin.jp/event/pdf/hsrj-m33-endaimoushikomi.docx>

<抄録の様式>

1. Microsoft Word 800字以内（A4サイズ・1枚）で作成下さい。

（タイトル・氏名・所属施設名は字数に含まない）

2. 抄録様式は以下のように統一して下さい。

1) 演題名

2) 演者名（共同演者を含む）

3) 所属施設名（複数の場合は番号をふる）

4) 抄録本文

左揃えとし、発表者には○印を付記して下さい。

本文は原則として日本語とします。

【目的】【方法】【結果】【結論】の見出しをつけてご記載下さい。

MSゴシック・MS明朝など一般的なフォントを使用し、サイズは11ptでお願いします。

<メール本文>

メールの本文には以下の事項を記載下さい。

1. 筆頭演者名、所属施設名

2. 連絡用E-mailアドレス

※尚、演者および共同演者は本会会員に限ります。未入会の方は肝類洞壁細胞研究会事務局にご連絡の上、入会手続きをお願いいたします。

### 演題の登録方法

第33回肝類洞壁細胞研究会学術集会  
当番世話人事務局

〒545-8585

大阪市阿倍野区旭町 1 - 4 - 3

大阪市立大学大学院医学研究科

機能細胞形態学 内 担当：宇留島隼人

Tel. 06-6645-3701

Fax. 06-6645-3702

### 入会・年会費等に関するお問合せ先

肝類洞壁細胞研究会事務局

〒545-8585

大阪市阿倍野区旭町 1 - 4 - 3

大阪市立大学大学院医学研究科

肝胆膵病態内科学 内 担当：田中梨沙

Tel. 06-6645-3897

Fax. 06-6646-6072